



きずな通信



＜平成23年第3回定例会号＞ 第20号

渋谷区議会 無所属クラブ

《渋谷区役所》 渋谷区宇田川町 1-1-5F

TEL 03-3463-1046

幹事長 やくまるよしと 薬丸 義人

《自宅》 渋谷区恵比寿 2-17-20

TEL 03-3444-7575

◆9月28日から10月25日までの会期中、渋谷区議会平成23年第3回定例会が開かれました。

今定例会では約1ヶ月かけて、条例等の審議と共に平成22年度の渋谷区各会計歳入歳出決算についての審査を行いました。詳細は下記の通りです。

◆平成22年度渋谷区各会計歳入歳出決算が審査され認定されました。

9月29日の本会議において決算特別委員会が設置され、議長招集により全議員を委員とする決算特別委員会が開かれました。

委員会では審査項目数が膨大であるため、総務区民・文教・都市環境・福祉保健の各分科会を設け、それぞれの所管部門において、皆様からお預かりした大切な税金が正しく使われたかを厳しく審査しました。各分科会の審査及び24日の決算特別委員会の本決定を経て、平成22年度各会計歳入歳出決算は25日の本会議で賛成多数で認定されました。



10月24日 決算特別委員会での採決の様子(賛成者起立)

◆平成22年度各会計の歳入歳出決算額は下記の通りです。

一般会計

歳入決算額	857億1456万4211円
歳出決算額	809億7496万7223円
差引残額	47億3959万6988円

国民健康保険事業会計

歳入決算額	207億0587万7175円
歳出決算額	198億0587万7175円
差引残額	9億0000万0000円

老人保健医療事業会計

歳入決算額	1224万5849円
歳出決算額	1224万5849円
差引残額	0円

介護保険事業会計

歳入決算額	105億8423万1792円
歳出決算額	105億0274万7124円
差引残額	8148万4668円

後期高齢者医療事業会計

歳入決算額	38億8217万3858円
歳出決算額	38億6810万7858円
差引残額	1406万6000円

上記5会計の歳入歳出決算合計額

歳入決算額	1208億9909万2885円
歳出決算額	1151億6394万5229円
差引残額	57億3514万7656円

◆決算特別委員会において指摘された主な項目は下記の通りです。

総務区民分科会 =====

【総務部】

1. 区政功労者表彰については、区における最高の顕彰にふさわしい式典となるよう、設備等を含め、会場づくりに配慮されたい。

【危機管理対策部】

1. 中央会場(代々木公園)における総合防災訓練については、訓練内容が参加者に的確に伝わるよう、放送設備等の工夫を図られたい。
2. 渋谷区は自治体の災害対応力で第1位※の評価と報道されたが、これに甘んじることなく、自主防災組織等との協働をさらに強化されたい。

※詳細は4ページをご覧ください。

3. 東日本大震災による区民の防災意識の高まりを受けて、集合住宅の居住者による防災訓練に対しても、さらに積極的な協力と指導に努められたい。
4. 渋谷区分煙ルールの周知を推し進めるため、来街者の多い渋谷駅周辺における取り組みの更なる強化を検討されたい。

【選挙管理委員会事務局】

1. 国政選挙の経費については、自治体に負担が生じないよう、国が責任を果たすことを求められたい。

都市環境分科会 =====

【都市整備部】

1. 温室効果ガス削減に向けて、区民と一体になった積極的な取り組みを検討されたい。
2. 建築物の耐震促進補助事業については、区民の生命を守る観点から、区民の多様な要望に配慮し、耐震化を促進されたい。

【土木清掃部】

1. 水防・治水対策については、ゲリラ豪雨等に備え、万全な対策に取り組むと同時に、見やすい洪水ハザードマップを作成し、区民への周知に努められたい。
2. 自転車の交通安全対策を推進するため、自転車専用道の整備や歩道への防護柵の設置等、交通環境の整備に努められたい。
3. 道路維持事業については、新たに設置する街路

樹について、樹種等、生態系を考慮し、剪定や根上り対策等、樹木の適切な管理に努められたい。

4. 区立公園については、遊具の選定等、区民の要望を十分取り入れ、地域に親しまれる公園の維持管理に努められたい。
5. 公園便所については、バリアフリー化の推進や、清掃の充実等、区民がより快適に利用できるよう改善されたい。
6. ごみ収集事業については、収集方法等、地域住民の要望を十分取り入れ、理解を得て進められたい。

文教分科会 =====

【子ども家庭部】

1. 青少年サポート事業については、相談窓口を十分に確保し、引き続きサポートにつとめられたい。
2. 新成人記念事業については、若い世代のボランティアによる実行委員会において内容を検討し、柔軟な発想による成人式の運営を図られたい。
3. 新島青少年センター運営については、利用者拡大のため、PRに努めるとともに、大規模改修を含めた施設のあり方について検討されたい。
4. 子ども家庭支援センター運営については、現場経験を有する専任の所長を配置するとともに、専門職スタッフ等の増員を図り、体制強化を図られたい。

【教育委員会】

1. 教育センター運営については、同センターが担っている重要な役割に鑑み、専任の所長を配置されたい。
2. 小学校給食運営については、食育推進の観点から、余裕教室等を活用してランチルームの整備を拡大されたい。
3. 小学校給食運営については、学校給食法の規定する経費負担を踏まえつつ、保護者負担の無償化に向け、国への要望等を検討されたい。
4. 図書館の運営については、中央図書館及び地域図書館と学校図書館、大学図書館等との連携を図り、専門性にも配慮したネットワークづくりを推進されたい。

福祉保健分科会

【福祉部】

1. 公衆浴場助成については、浴場組合との連携を強め、魅力ある施設づくりができ、将来展望が持てるよう、助成を拡充されたい。
2. ボランティアセンター運営助成については、貸出備品の見直しを図るとともに、個人登録者に対する情報提供の徹底など、ボランティア活動の更なる拡充に努められたい。
3. 高齢者配食サービスについては、対象の拡大を図るとともに、利用者が選択の幅を広げられるよう、事業者数の拡大に努められたい。
4. 住宅改造助成については、区内事業者とも連携し、一層の事業拡大に努めるとともに、周知の徹底を図られたい。
5. はつらつセンター幡ヶ谷及びはつらつセンター参宮橋にAEDの設置を図られたい。
6. 特別養護老人ホーム運営に当たっては、利用者へのサービス向上を図るため、職員の安定的雇用と福利厚生等の処遇改善に一層努められたい。
7. 心身障害者(児)社会参加事業のリフト付きタクシーの運行については、緊急時の対応等も可能となるよう利用者の実態を把握し、改善を図られたい。
8. 子ども発達相談センターの運営に当たっては相談件数の増加に対し適切な対応を図られたい。また、私立保育園・幼稚園との連携も強化されたい。

【健康推進部】

1. 精神障害者自立支援事業においては、災害時における通所者の安全を確保できるよう、備蓄品整備等の防災対策をさらに強化されたい。
2. がん予防事業については、がん検診の受診率向上を図るため、検診場所の拡大や周知徹底にさらに努められたい。

◆今定例会の議案と結果は次の通りです。

★各議案横の○×は無所属クラブの賛否、右は議会採決結果

議案内容の最後の〈 〉内は事前審査した所管の各委員会。

〈総〉総務区民委員会、〈都〉都市環境委員会、〈文〉文教委員会、

〈福〉福祉保健委員会、〈議運〉議会運営委員会

【10月7日 本会議にて議会採決分】

- 1 2 3年度一般会計補正予算(第4号) ○：可決**
歳入歳出にそれぞれ1億8580万円を増額し本年度の一般会計予算総額を825億8751万5千円とするもの。歳出内容は節電対策のため総合庁舎1・2階の中央エレベーターホールのLED照明器具設置工事に330万8千円。議会費で自治権確立特別委員会並びに交通・公有地問題特別委員会設置に723万5千円。本町第二保育園建替による仮設園舎設置工事に1億1200万円。渋谷駅周辺の不法投棄対策事業に641万2千円。小学校5校(長谷戸・富谷・千駄谷・鳩森・代々木)及び中学校2校(代々木・原宿外苑)の耐震診断・補強設計実施業務委託に4262万5千円。生活保護費の超過交付に伴う都返還金に1422万円を計上。

歳入財源は都負担金・緊急雇用創出事業臨時特例補助金・繰越金を計上。

尚、本町第二保育園仮設園舎設置工事については事業完了が24年度となるため、全額を繰越明許費として設定。〈総〉

2 2 3年度国民健康保険事業会計補正予算(第1号) ○：可決

歳入歳出にそれぞれ1億9591万3千円を増額し、本年度の国民健康保険事業会計の予算総額を218億3058万円とするもの。

歳出内容は22年度の療養給付費における超過交付金の国庫返還金として1億9591万3千円。歳入財源は繰越金を計上。〈総〉

【10月25日 本会議にて議会採決分】

- 3 **健全化判断比率の報告** 了承
- 4 **㈱渋谷都市整備公社の経営状況の報告** 了承
- 5 **㈱渋谷サービス公社の経営状況の報告** 了承
- 6 **渋谷区土地開発公社の経営状況の報告** 了承
- 7 **㈱渋谷区美術振興財団の経営状況の報告** 了承
- 8 **暴力団排除条例(制定)** ○：可決

渋谷区における暴力団排除活動に関する基本理念を定め、区・区民・事業者の責務を明らかにすると共に暴力団排除活動を推進し、区民生活の安全保障、事業活動の健全な発展に寄与することを目的とするもの。〈総〉

9 平成22年度一般会計歳入歳出決算

○：認定

10 平成22年度国民健康保険事業会計

歳入歳出決算

○：認定

11 平成22年度老人保健医療事業会計

歳入歳出決算

○：認定

12 平成22年度介護保険事業会計

歳入歳出決算

○：認定

13 平成22年度後期高齢者医療事業会計

歳入歳出決算

○：認定

※その他：請願及び意見書

1. 区民のいのちを守るため安心できる国民健康

保険制度を求める請願 <総> ×：不採択

2. 所得税法第56条廃止の意見書提出を求める請願

<総> ×：不採択

3. 児童福祉センターのプール再開を求める請願

<文> ×：不採択

4. 子どもたちを放射線被曝から守るための請願

<福> ○：採択

5. 意見書1件

○：決定

中小零細企業者等の経営基盤の支援強化を図るため『固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書』を東京都知事あてに提出することを決定。 <総>

第5位…板橋区 79.2点

第6位…厚木市 77.1点 (神奈川県)

第7位…墨田区 76.2点

第8位…岐阜市 72.0点 (岐阜県)

第9位…足立区 71.6点

第10位…江東区 70.1点

以下、第11位…八尾市(大阪府)、第12位…小山市(栃木県)、第13位…川口市(埼玉県)、第14位…北区、第15位…横浜市(神奈川県)となっています。

◆放射線量測定について

6月の土壌・給食食材の放射線量測定に引き続き、9月下旬に第2回の測定を実施しました。区内保育園・幼稚園・小学校の砂場の砂5ヶ所、及び保育園3園・小学校3校の給食食材(牛乳を含む)について、前回同様、(財)日本食品分析センターでγ線スペクトロメーター(ゲルマニウム半導体検出器)法により測定しました。その結果、問題となるような数値は1ヶ所もありませんでした。

※詳しくは渋谷区ホームページをご覧ください。

尚、渋谷区では、東京都から貸与されたシンチレーション式サーベイメータ(日立アロカメディカル社製 TCS-172B)を活用して、10月19日から、保健所の環境衛生監視員が、区内小・中学校、区立幼稚園・保育園、私立保育園を中心に、空間放射線量の測定を開始しました。測定ポイントは校庭(園庭)及び、敷地内の雨樋や側溝などです。年内に一巡する予定で、結果は測定を実施した週の翌週までに、区のホームページに掲載します。

◆渋谷区の災害対応力の評価

3月11日の東日本大震災を受けて、日経グローバル(情報誌)が8月15日号で、人口10万人以上の全国自治体289区市における『自治体の災害対応力』の評価を掲載しました。

内容は①防災計画の見直し、②自助・共助力の育成、③災害弱者支援、④組織体制・連携、⑤災害対策・支援制度、⑥インフラ、⑦情報システム、の各分野についてA+(プラス)～C-(マイナス)の9段階に格付けし、さらに100点満点で総合得点を付けました。

渋谷区は総合得点96.6点。また①～⑦までの分野で、渋谷区だけが唯一、全ての分野で『A+』の格付けを受けました。

渋谷区は、第2位の北九州市(福岡県)の87.2点を大きく引き離しての総合評価第1位でした!

総合得点第3位…荒川区 84.4点

第4位…港区 79.9点、

◆傍聴にいらっしやいませんか!

本会議および各委員会は傍聴することができます。区役所5階区議会事務局で傍聴券をお渡しします。是非お越しくください。(大型の電動車椅子ご使用のかた、手話通訳の必要なかたは、あらかじめ薬丸義人にご連絡ください)

★次回の渋谷区議会

平成23年第4回定例会は

11月29日からの予定です!!

